

鳩山幼稚園だより



ピジヨっこ

いっぱいあそんで いっぱいまんで みんな なかよし はとやまようちえん

園長 岡部玲子 NO13 令和8年2月号

立春は過ぎましたが、今週末はまた寒くなるとの天気予報。まだまだ厳しい寒さが続くかと思われます。この季節の言葉として「雪中四友」という言葉があることを知りました。寒さの厳しい冬の雪中にあっても、美しい花を咲かせる四つの花、梅・蟬梅・水仙・山茶花の花だそうです。皆さんの家の周りには咲いているでしょうか。



幼稚園の(ちょっとお疲れ)山茶花と玄関の蟬梅

さて、早いものでもう2月第1週末。2月はあっという間に終わってしまいます。



大学共通テストに絵本から出題！ 一科学絵本「**イワシ むれで いきる さかな**」

1月17日(土)と18日(日)に行われた2026年大学入学共通テストの国語の問題に、「イワシ むれで いきる さかな」という科学絵本から問題が出されたのをご存じですか？

鳩山幼稚園では科学絵本を様々な活動の中で活用しています。例えば栽培活動を始める前の導入として、関連する科学絵本を読んであげたり、しばらく絵本を掲示しておいたり、収穫作業の前にも読んであげます。すると、子供たちからプチ発展的な活動が始まる場合があります。また、子供たちはダンゴムシやイモムシなども大好きで、登場する生き物に作者が感情移入して書いた絵本や、「図鑑」で実物(幼稚園には実物がいっぱいいます)と比べながら見ていることもあります。「科学絵本」には大人が読んでも、ページ全面を使った写真と簡潔な文章に“なるほど!” “そうなんだ!”と改めて感心することも多々あります。

この科学絵本「イワシ」の問題資料として、絵本の編集者へのインタビュー記事があります。その抜粋に

欲張っても、そんなに多くの中身を盛り込めません。ましてや読者が5、6歳の子どもですから、(中略)絵本に込めるメッセージを絞ります。

たとえばこの『イワシ むれで いきる さかな』なら「イワシは群れで生きている」というたった一行。「群れ」という生物界での生存戦略を紹介する絵本です。それがどういうことなのか、ストーリーを通して感じさせる。それ以外の(中略)物語に不要な情報はすべて削りました。(中略)情報を知ってほしいのではなく、驚きや発見を通じて、作者や編集部が読者に感じてほしい一つのメッセージが伝われば充分です。

(山形昌也氏へのインタビュー記事「科学絵本のアプローチ」をもとに作成)

とありました。絵本からの出題だからとはいえもちろん共通テストですから、問題の意味を読み取るだけでも簡単ではありません。(問題と解答はネットに出ています。もしよかったら皆さんも挑戦してみたらいかがでしょう。刺激になるかもしれません。)

小学校の国語の教科書では、教材として「説明文」が出てきます。小さい年齢のうちから科学絵本に書かれているような、客観的で論理的な文章に親しみ、“なるほど!” “そうなんだ!” “すごいなあー!” と感じることはとても意味のあることだと確信しています。

今回の共通テストを受け、幼稚園でも新たに科学絵本を何冊か購入しました。ただ、残念なことに「イワシ」は共通テストに取り上げられたことで、話題沸騰となり、売り切れとなっていました。それでも、他にいろいろなジャンルで楽しい絵本を購入しましたので、ぜひ保護者の皆さんも読んでみてください。まずは、大人絵本コーナーに置いておきます。



<大人絵本コーナー>

貸出始まりました。新しい絵本も入りました。盛況です!

今回の共通テストでは、もう一つ話題になったことがあります。それは、世界史の問題に1972年から少女漫画誌に連載され、一世を風靡した「ベルサイユのばら」を活用して問題が出題されたことです。(これも興味があったら、ネットに問題と解答があります)先に述べた絵本「イワシ」にしても少女漫画「ベルサイユのばら」にしても、これからは多種・多様な「読み物、読み方」にたくさん触れ、こつこつと「言葉の力」を身につけてほしいと思いました。

【2月の活動予定】

時 期	もも・さくら 組	に じ 組
2月上旬	<ul style="list-style-type: none"> 作った鬼のお面をつけて節分の行事に参加する。 出張クラフト体験 「がんばりカード」を使って巧技台ジャンプ・缶ぼっくり・ペダルローラーに挑戦する。 	<ul style="list-style-type: none"> 作った鬼をかぶって節分の行事に参加する。 出張クラフト体験 参観日に向けて友達と協力しながら自分たちで活動(ゲーム遊び)を組み立てる。
中旬	<ul style="list-style-type: none"> おひな様を作る。 空き箱に厚紙を貼って、迷路を作る。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校ごっこで遊ぶ。 おひな様を作る。 卒園式の会場に飾る自画像を描く。
下旬	<ul style="list-style-type: none"> お別れ園外保育で平成の森公園に行く。 にじ組へのプレゼントを作る。 	<ul style="list-style-type: none"> お別れ園外保育で平成の森公園に行く。 卒園式の練習開始

【幼稚園でできるESD 2025】ピジョっこみんなのファーム

<まゆだままつり> 1月14日(火)



まゆ玉の花が咲きました

鳩山幼稚園の伝統行事「まゆ玉祭り」

鳩山ではかつて養蚕が盛んでした。まゆ玉団子はその繭の形を模して作った団子を枝にさし、五穀豊穡を祈るお祭りです。子供たちにもいわれのお話はしましたが、年長以外はちょっと難しかったようです。今年は3歳児クラスの子供たちがたくさんいるので、安全面を考えお団子を食べることはしませんでした。お家の人にもお団子さしと一緒にやってもらいました。食べなかった分枝にはたくさんのまゆ玉の花が咲きました。(今年もお団子は園庭でかまどを使って蒸しました。)

<こども農園始めました>

鳩山幼稚園の探究的活動



<栽培活動感想追加分>

幼稚園の栽培活動のおかげで家で育てている野菜にお水をあげるようになりました。また、サツマイモを美味しく食べられるようになりました。

冬は農園もお休みです。春になったらいろいろなものももっと活発になってきます。

鳩山幼稚園ではたくさんの栽培活動をしてきました。そんな影響もあるかどうかはわかりませんが、もも組のA君が砂場のそばに畑を作りました。砂場からこぼれた砂で「ピジョっこファーム(園の畑)」のように畝を作ってミニミニ畑のようになりました。数珠玉の枯れ枝から種を取り出し蒔いたり、ドングリを埋めてみたり、園庭の隅に落ちている枯れ枝をさしたり。すると、B君もA君の畑作りに賛同し(興味を持ち)一緒に畑ごっこを始めました。でも、砂の畑では何も育たないでしょう。「模擬体験」ではなく「実体験」を大切にしている幼稚園としては、やはり芽が出て育っていく様子を体験させたいと考えました。そこで、本物の植物を育てられるように、土の入った大きなプランターを2つ用意しました。子供たちは試しに12月に収穫したジャガイモの残ったもの(種イモ?)を植えてみました。ジャガイモは強いので、多分このまま土の中で冬を越して春になったら芽を出してくるのではないかと思います。そしたら、今度は観察が始まるでしょうか。

一人一人の“やりたい”を伸ばし、みんなの“やりたい”を創る 鳩山幼稚園

【1月のピジョッコフォト】

<高齢者とのふれあい>1月22日(木)



歌とダンスを披露



一緒にふれあいタイム

<避難訓練>1月23日(金)



事前指導



避難完了

<山村短大ゼミ生と一緒に>

1月26日(月)山短のゼミの学生が3名来園し、サーキット遊びをやってくれました。寒い日でしたが、風が少なく全てのメニューを園庭で行うことができました。



学生さんと一緒に

<節分の行事 豆まき>2月3日(火)

今年は安全面を考えて新聞紙の豆を作って豆まきをしました。



午前にはひよこ組と一緒に



午後は年長が鬼



<コマ回し大会>1月27日(火) 全員に認定証授与!



投げゴマ



手回しコマ



大人もチャレンジ

ハイテクニック

今年もみんなで一生懸命練習したコマ回しの発表会がありました。全員が回すことができました。ギャラリー(父・母・祖父母)もたくさんいて子供たちの励みになりました。大人のチャレンジコーナーでは例年になくたくさんのお家の人が挑戦していました。(昔の勳を思い出せたでしょうか?)

<第2回 幼・保・中ふれあい授業> 1月29日(木)



じゃんけん列車



魚釣りゲーム



外遊びも一緒に

家庭科授業での交流(2回目)も無事実施することができました。中学生が一生懸命幼児のために考えてくれた遊びで、みんな楽しく交流ができました。中学生は受験の合間でしたが、小さな子どもたちと触れ合い、ささやかでも、ほっと温まる気持ちになってくれたらうれしいです。

<親子でクラフト体験教室 小川げんきプラザ出前教室> 2月4日(水)



所員さんの説明



バッグ作り



回すのむずかしい!

バッグとブンブンごま かわいい作品できました

げんきプラザのクラフト体験教室は主に年長児が対象ですが、鳩山幼稚園では3歳児が多いということもあって、「親子クラフト教室」としてお願いしたところ、保護者の分もクラフト(工作材料)を用意してくれ、実施することができました。



本園では「本物の体験」を教育の根幹の一つとして活動を行ってきました。また、今年度は「SDGsの理念」に基づいた活動(研修)も行っています。げんきプラザでも「直接体験」を大切に、金勝山で得られた自然の材料を活用するなどSDGsにも取り組んでいるということ。今回、子供だけでなく保護者にも体験を広げることで、自然物で楽しみながら作品を完成させる喜びや豊かな心の育成、保護者の皆さんの教育活動への理解に繋がってくればと考えげんきプラザとコラボ企画しました。「県内の公立・私立を含めたくさんの幼稚園・保育園に出前教室に行っていますが、親子で取り組んでくれたのは初めて」と所員さんも話していました。

鳩山幼稚園の多くの保護者の皆様のご理解・ご協力に心より感謝です。

げんきっこ！

【学級だより】

もも・さくらぐみ

花水(国の山茶花)

もも組担任 窪田幸恵 さくら組担任 星野佐和子



★ももぐみ★ 【氷ができたよ！】



年長組の遊び『氷作り』でできた氷を発見したもも組さん！「うわあ〜！」と歓声をあげて触ったり覗き込んだり興味津々です。憧れのにじ組さんのように『自分たちも氷が作りたい』とみんなで氷作りの挑戦が始まりました。カップなどの小さい容器に水を自分で入れて園庭の好きな場所へ置いていきます。「先生、今度はペットボトルちょうだい！」とA君。A君の真似をしてペットボトルに水を入れていたBちゃんが「きれいな色にしたいな！」と言いました。教師と一緒に絵の具で色水に変身させると、「やりたい！」と仲間が集まってきて氷作りが広がっていきました。次の日、バスから降りてくるとみんなすぐに自分の容器の所へ駆け寄り、「凍ってる！」「見て見て！」「すごい！」と大喜びです。朝の支度はさておき…しばらくは氷に夢中になって遊ぶ子供たちの姿が見られました。

★さくらぐみ★ 【パズル遊び】



保育室に設置したお正月遊びコーナーにあるパズル遊びが好きで、さくら組さんが広げて遊び始めると「入れて！」と自然と周囲に友達が集まってきます。みんなそれぞれにピースを手に持ち“あっちかな？こっちかな！”と楽しみながら遊び進めて段々と完成が近づいてくると、残りのピースも少なくなり、次のピースを手に取る速さも自ずとみんな速まってきます。さくら組さんも、ピースをゲットしてはどんどんとはめていきます。ようやく完成すると「やったー！」と友達と一緒にハイタッチ！1人でじっくりと取り組むパズルも楽しいけれど、みんなで一緒にするパズルも楽しい様子のさくら組さんでした。

にじいろ

『にじ組みんなで盛り上がっています！』



にじ組担任 坂野蘭菜

先日のこま回し大会では、たくさんのお客さんの前で緊張した様子を見せながらも、緊張を自信に変えてこま回しを披露することができたにじ組の子どもたち。一人一人の成長を感じる場面となりました。また、3学期に入りこまの練習とともに、トランプなどのカード遊びにもにじ組の中でブームになっています！部屋の真ん中にごさを敷いて丸くなり、みんなでババ抜きなど分かりやすい遊びから始め、ルールを確認しながら遊びを広げていきました。ルールを知っていたAくんが初めてやるBくん「ここを見て！この数字が同じカードを2枚前に出して！」と一つ一つ丁寧に伝えながら接し、Bくんも嬉しそうに「分かった！」と答え遊びに参加していました。

「いっきゅうさん」というトランプ遊びでは、積まれていくトランプを取るときの数子どもたちで話し合っアレンジして、ルールを工夫しながらさらに遊びこみ夢中になる子どもたち。何回も遊んでいくうちに、「3と8は形が似ているね」「9と6はひっくり返すと同じだ！」と、誰かが気づいてみんなで見て共感し合う場面もありました。また、「パキスタンにはトランプとかあるのかな？」「どんな絵が書いてあるんだろう？」などと新たな興味や疑問が広がっていきました。



トランプ遊びは、毎日にじ組の誰かが教師に「トランプしようよ！」と声をかけに来るほど、子どもたちのお気に入りの遊びです。遊びを進めていくうちに最初は2人でやっても「やっぱり入れて！」と自然と友達が集まり、クラスみんなで顔を合わせながら楽しむ姿に、個々の成長とともににじ組のつながりの深まりを感じています。